

嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

＜令和6年度事業進捗・効果検証シート＞

嬉野市総合戦略推進委員会

令和7年10月23日開催

基本目標① 嬉野市に住みたい・行きたい”ひと”の流れをつくる

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績				
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値		把握方法		
交流人口【観光客数】	2,395千人	H30 (暦年)	1,968千人	2,437千人		R6観光客動態調査		
				R2	R3	R4	R5	R6
				1,020	1,123	1,952	2,245	2,437
人口の社会減(7カ年累計)	700人以下(累計)	H26～30	758人	-181人(5ヶ年累計)		住民異動月計表(リストナビ)		
				R2	R3	R4	R5	R6
				-111	-78	-6	-123	137

(1)新幹線を活かしたまちづくりの推進

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績				
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値		把握方法		
新幹線駅前交流施設 来訪者数	400千人/年	H30	—	285千人/年		人感センサーカメラによる 計測(推定値)		
				R2	R3	R4	R5	R6
				—	—	114	194	285

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)				備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)		
・「嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会」の提言を踏まえた駅周辺施設整備および官民連携による賑わいづくりの推進	公共施設整備については昨年度完了し、今年度から指定管理者による運営を開始した。民間事業者のノウハウを活かしたイベントやマルシェ等を実施し賑わい創出が図れた。	R8		駅前開発事業者(定期借地により事業実施)による段階的整備が実施予定。さらなる駅前の賑わいづくりに期待。	※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	B		
		R3	A		
		R2	A		
・ 関西・中国地方に向けたプロモーションおよび関連イベントの開催	【新幹線・まちづくり課 B】観光商工課の広島でのイベントに合わせた公式LINEを用いたPRを実施。 【観光商工課A】引き続き、大阪・広島をメインターゲットエリアとして設定し、各種プロモーションに取り組む。	R8		【新幹線・まちづくり課 B】道の駅に隣接し立地しているマリオットホテルグループ主催で大阪において道の駅マルシェを実施しPRを行う予定。 【観光商工課A】観光データを活用し、ターゲットを絞ったプロモーションを強化し、リピーターを増やす。	
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	D		
		R3	A		
		R2	A		
・ 県、沿線市や近隣自治体と連携した広域的誘客促進の取組み	西九州新幹線沿線5市ネットワークへの参加とJR九州とも連携したイベントの実施。	R8		引き続き沿線5市ネットワークでの取り組みを実施するとともにJR九州とも連携していく。	
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	A		
		R3	A		
		R2	A		
・ 新たな交通結節点となる新幹線駅から温泉街や市内外各地を結ぶ次世代モビリティを含む二次交通の充実	R5年度に引き続き自動運転車両による実証実験を実施した。また、夜間での実証も行い阿寒における移動需要の把握に努めた。既存のバス・タクシーについては継続した運行を実施。	R8		自動運転車両による実装実験の継続。また交通事業者と協議を行い、バス路線の維持とタクシーの待機車数の増に努める。	
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	B		
		R3	A		
		R2	A		

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)				備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価		今後の取組(予定・課題等)	
・ 国や他の道の駅等との連携による「道の駅」の機能充実	指定管理者による他の道の駅との連携を実施。各種道の駅連絡会へ参加し連携を図った。	R8		継続した連携を図るとともに、各種道の駅連絡会へ参加予定。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7			
		R6	A		
		R5	B		
		R4	B		
		R3	A		
		R2	A		
・ 新たな交通拠点の誕生を契機としたAI、IoT、5G、自動運転などの未来技術を活用した取組み	メタバースでの花火大会の実施、ECサイト「嬉野商店の」開設。公式LINEによるスタンプラリー、自動運転車両による実証を行い賑わい創出に努めた。	R8		実証実験を継続し、効果検証を行った上で、地域への実装に向けた最終的な判断を実施。	
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	B		
		R3	A		
		R2	A		

(2)観光まちづくりの推進・国際交流活動の推進										
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績						
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法			
宿泊観光客数(全体)	727千人/年	H30 (暦年)	588千人	568千人/年			R6観光客動態調査			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				343	292	460	521	568		
外国人観光客数(宿泊)	232千人/年	H30 (暦年)	120千人	61千人/年			R6観光客動態調査			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				15	0.179	3	25	61		
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考		
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)						
・「温泉」、「食」、「自然」等を活用した新たな観光コンテンツや魅力の創出	観光協会、県観光連盟や近隣市町との連携して、既存観光資源の磨き上げや着地型観光コンテンツ(体験コンテンツ等)の創出を目指し、第2種旅行業を活用したコンテンツ創出を行った。	R8		観光協会の第2種旅行業者を活用し、県観光連盟や近隣市町との連携を図りつつ着地型観光コンテンツの更なる創出を目指す。					※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要	
		R7								
		R6	B							
		R5	B							
		R4	B							
		R3	B							
		R2	B							
・関係団体等との連携による回遊性のある観光まちづくりの推進	市内全体での回遊ができるよう、商店街や窯元組合、その他団体や店舗と連携し、周遊環境を創出するよう努力した。	R8		観光協会、商店街、窯元組合その他団体や店舗と連携し、周遊ルートの充実と魅力向上及びガイド育成に取り組む。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	B							
		R3	B							
		R2	B							
・観光DXを用いてターゲットやニーズを精査した顧客目線のプロモーションや情報の伝達	引き続き、大阪。広島をメインターゲットエリアとして設定し、各種プロモーションに取り組みつつ、九州全域のリピーターの定着を図った。	R8		観光データを活用し、ターゲットのニーズに合わせたプロモーションを強化し、リピーターを増やす。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	B							
		R3	B							
		R2	B							
・富裕層・インバウンド向け高付加価値化商品の造成	観光協会、県観光連盟と連携して、観光協会や民間事業者の取り組みを支援し、高付加価値商品の造成に努めた。	R8		観光協会、県観光連盟と連携、国や県の補助事業などの活用など、引き続き、観光協会や民間事業者の取り組みを支援し、高付加価値商品の造成を目指す。						
		R7								
		R6	B							
		R5	B							
		R4	B							
		R3	B							
		R2	B							
・広域的な観光ルート形成など広域連携による多様な観光振興事業の取組み	肥前路南西部広域観光協議会では、嬉野温泉駅を起点とし、2次交通を考慮した観光ルートの創出を目指す。3市町連携会議では、西九州新幹線を活用した観光PRIに取り組んだ。	R8		広域連携を強化し、佐賀県西部地区の観光ルートの多様化と魅力向上を図り、観光客の満足度を高める。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	B							
		R3	B							
		R2	A							
・観光ポータルサイト等による観光情報のワンストップ化およびVR等の未来技術を活用した観光情報発信の取組み	西九州新幹線嬉野温泉駅開業に合わせて、アクセスについて細やかな情報を発信し、引き続き課題の抽出と改善を行い、JR利用での観光客誘致のための情報発信を行った。	R8		VR技術活用で嬉野温泉の魅力を発信し、観光情報ポータルサイトでの利便性向上を図る。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	B							
		R3	B							
		R2	B							

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・多言語対応、UD化など観光おもてなし体制・環境整備の促進	国際交流員(CIR)と連携して、各種パンフレット等の多言語表記の改善に努めた。 キャッシュレス決済普及については継続して行う。	R8 R7 R6 B R5 B R4 B R3 B R2 B	国際交流員(CIR)との連携や観光庁の多言語解説支援事業の活用など更なる多言語表記の改善を行う。 キャッシュレス決済普及については継続して行う。	※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要
・大学や関係機関等と連携した観光客受入体制の充実および人材育成	和歌山大学観光学部との「観光に関する連携協定」に基づき、観光を担う人材の育成、新たな観光戦略の策定、地元教育機関に対する指導に努めた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 -	引き続き、和歌山大学と連携し、観光客受入体制の強化および人材育成をさらに推進し、地域全体で観光振興に取り組む体制の強化を図る。	
・モニタリングシステムを活用した源泉データの集中管理による温泉の保全	令和5年度末を以ってモニタリングシステムの設置対象としていた17源泉に設置が完了し、全体的なデータの測定が可能となり、源泉状況の定期的な共有を行った。	R8 R7 R6 A R5 A R4 B R3 B R2 B	定期的なデータの収集・整理、モニタリングを継続するとともに安定的なデータ測定のため機器の維持管理を実施していく。	
・市内在住外国人等と市民との交流促進による多文化相互理解の推進	国際交流員も交えて「カフェこくさいじん」を定期的に開催し、市内に住む外国人への日本語教育、各種イベントへの参加等の交流を行った。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 B	国際交流員と連携し、交流事業を充実させ、佐賀県国際課とも連携し、市内在住外国人にとっても住みやすい地域づくりを目指す。	
・市民の地域経済循環の促進を図る体制構築	観光戦略に基づき、観光消費額を令和14年度までに175億円まで引き上げることができるよう、宿泊施設や観光施設の高付加価値化を図った。	R8 R7 R6 A R5 A R4 B R3 - R2 -	引き続き、宿泊施設の高付加価値化を図るとともにサービスの向上に努め、地域全体での経済循環の促進を図る。	
・嬉野の自然環境やライフスタイル(暮らし観光)を活かした滞在型メニューの創出	引き続きDMOと連携して、新たなアクティビティ等のコンテンツの造成に努めた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 B R3 - R2 -	DMOの第2種旅行業者登録を活かし、滞在型メニューの多様化を図る。DMOと連携し、自然環境やライフスタイルを活かした新しい着地型商品の開発を支援する。	

(3) 移住・定住したいまちの推進

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値				把握方法			
市・県が支援した移住者数 (転入奨励制度・移住支援制度・空き家バンク利用者等)	1,050人(累計)	H26～30	256人	812人(5ヶ年累計)				空き家バンク登録ファイル、移住促進応援金支給台帳、さが暮らしスタート、地方創生移住支援金			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				113	148	227	165	159			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・ 県・関係機関等との連携による移住支援の取組み	県主催のイベント等へ参加し、県の各種補助制度について紹介を行った。	R8		イベントへの参加に加え、他市町との連携等市単独で行うことが難しい取り組みも積極的に検討したい。		※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要					
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	B								
		R3	B								
		R2	A								
・ 大都市圏での移住相談会開催やポータルサイトの導入等による移住・定住情報発信の充実	大都市圏での移住相談会是一通り参加することができた。実際にお試し移住体験や移住される方もでてきている。	R8		ポータルサイトについては引き続き予算面等クリアできるよう情報収集等を行い実現に向けた取組を行いたい。							
		R7									
		R6	B								
		R5	B								
		R4	B								
		R3	B								
		R2	A								
・ 「お試し移住制度」利用者等への相談・移住体験ツアーなどの支援体制の拡充	お試し移住施設を設置し、移住希望者の受け入れを行っている。また、移住希望者とのオンライン面談を実施することで嬉野市内での移住体験の要望に沿った関係各所への紹介を行っている。	R8		お試しを体験された後の嬉野市への移住確率を上げるためにも、移住コーディネーターによる現地での案内(まち歩き等)を充実させたい。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	C								
・ 転入奨励制度など移住促進のための優遇施策の拡充	移住促進応援金や地方創生移住支援金、さが暮らしスタート支援事業補助金等の優遇施策を拡充している。	R8		市独自の補助金については近年の状況トレンドに応じた見直しを行いたい。国、県の補助金についても市町の独自事項当対応可能な箇所については検討を行いたい。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・ 空き家利用促進のためのリノベーションなど助成制度の拡充	空き家バンク登録物件のリノベーション費用の補助を行い、利用者も増加している。	R8		補助金の活用範囲や内容について見直しを行い充実を図りたい。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・ 市が運営する空き家バンクへの登録促進	年間約20件のペースで登録があり、半数程度の物件が成約している。	R8		登録件数の増加のため、これまでにない取組の検討や、既存の精度の見直し等を行いたい。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・ 景観の保全と景観づくりの推進および道路・公園・排水処理施設など生活環境等の整備促進	集合処理(農業集落排水・公共下水)・浄化槽事業を推進し、水洗化人口の増加と公共サービスの平準化を図った。	R8		農業集落排水及び公共下水道については整備が完了し、今後市営浄化槽事業の推進を引き続き図っていく。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								

(4)文化の薫るまちづくりの推進											
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
社会文化会館「リパティ」文化ホール利用件数	380件/年	H30	333件	301件/年			貸館実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				203	303	316	269	301			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・市内外から多くの来場者を呼べる魅力的な演奏会・舞台芸術等の開催・誘致	トップアーティストによる演奏会から、アマチュアバンドコンテスト、親子向けオペラ、子ども映画祭など多彩な文化イベントを開催することができた。	R8		嬉野市社会文化会館の管理・運営について、指定管理者(民間)のノウハウを活用し、文化芸術イベントなど更なる充実を図る。	※評価欄について A:計画的に事業実施・実施済 B:一部事業実施 C:事業検討・準備段階 D:未着手・事業休止・事業見直し必要						
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・文化芸術分野で活躍する佐賀・嬉野ゆかりの人物にスポットをあてたイベントおよびワークショップ等の開催	本市に縁のあるトップアーティストによる演奏会や、本市で活動する市民吹奏楽団との共催によりコンサートを開催した。	R8		関係団体等と連携しつつ、今後も魅力ある事業実施に努める。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	C								
		R2	D								
・各種媒体を活用した市内外への文化芸術に関する情報発信の充実	イベント告知については、市ホームページや各種SNSの活用、チラシの市内全戸配布、ポスター掲示など積極的に行った。また、イベントによってはラジオ放送を活用し、市外に対しても情報発信を行った。	R8		従来の情報発信ツールを継続的に活用しながら、新たな情報発信ツールの検討・活用を行っていく。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・塩田津・志田焼の里博物館・長崎街道・キリシタン史跡・鍋野和紙など文化遺産や歴史的資源の魅力向上およびそれらを活用した文化振興	【観光商工課 A】 志田焼の里博物館については、指定管理者制度を活用し、歴史的価値のみでなく、観光施設としても魅力向上を図った。また、鍋野手漉和紙の活性化・次世代への伝承等を目的として事業実施主体である鍋野手漉和紙保存会への支援を行った。 【文化・スポーツ振興課 C】 特筆すべき事項は無し。 【教育総務課 A】 伝建制度50周年記念事業として、全国伝建協議会によるスタンプラリーのイベントを嬉野市も協議会メンバーとして積極的に活用し、塩田津伝建地区の魅力を全国に発信できた。	R8		【観光商工課 A】 志田焼の里博物館については、中長期的な計画を基に、効果的な対策を引き続き行う。鍋野手漉和紙保存会については、将来的に自走できるよう、体験者を増やす等、現状の課題を共有しながら今後も支援を行う。 【文化・スポーツ振興課 C】 担当所管課との協力体制をもって、必要とされる事項があれば積極的に取り組む。 【教育総務課 A】 毎年刊行している「嬉野市歴史民俗資料館研究紀要」に、地元の郷土史研究会の研究結果として鍋野和紙について寄稿してもらうよう計画をする。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	B								
		R3	B								
		R2	B								
・市内各地区に受け継がれる面浮立・踊浮立・猿浮立・鉦浮立・獅子舞・大名行列など伝統芸能継承の支援	伝統芸能の活動に必要な道具等の購入費用の支援や、人材育成に対する支援等を行った。	R8		今後も継続して支援を行っていく。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								

(5) 人と地域が元気になるスポーツの推進

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
スポーツ施設利用件数	6,000件/年	H30	3,127件	6,041件/年			貸施設実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				3,725	4306	5,696	5,839	6,041			
スポーツ合宿参加者数	10,000人/年	H30	9,426人	486人/年			合宿誘致補助金実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				1,004	393	763	495	486			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・ 魅力あるスポーツイベントやスポーツキャンプ・合宿等の開催・誘致	親子対象の運動教室や、老若男女、スポーツ形意拳の有無を問わずどなたでも参加できるスポーツイベント、トップアスリートによるスポーツ教室など多彩なイベントを実施することができた。 スポーツキャンプや合宿等の誘致については、受け入れ環境に課題があり、件数も伸び悩んでいる。	R8		今後も多様なスポーツイベント等を開催し、市民がスポーツを楽しむ機会創出に取り組む。 スポーツキャンプ、合宿誘致については今後の取り組み方針の見直しを検討する時期と考える。						※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要	
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	B								
・ 各種媒体を活用した市内外へのスポーツに関する情報発信の充実	市報や市HP等への掲載、市内回覧等により情報発信を行ったが、市民に対する周知はまだ不十分だと感じる。	R8		既存の媒体だけでなく、情報を届けたい人に向けて効果的な発信ツールの使い分けをする等、効率的な情報発信の手法を検討したい。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	B								
		R2	A								
・ 体力づくりや健康増進を目的とした運動習慣確立等のスポーツライフ推進事業の実施	本市との連携協定を結ぶ事業者を中心に、多種多様なスポーツイベントや講習会等を開催し、市民がスポーツを身近に楽しんだり、自身の運動技術や指導に関することなど、スキルアップの機会を創出した。	R8		今後もスポーツイベント、講習会等の充実を図り、市民が継続的にスポーツを楽しめる環境づくりや、スポーツ選手や指導者のスキルアップなどに対する支援を続けていきたい。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・ スポーツツーリズム推進のための受入れ体制強化および魅力向上	スポーツ協会や観光協会等と情報交換を行いながら受け入れ体制づくりに努め、旅館や飲食店等の協力により、国スポ開催時には選手や関係者の受入れができた。	R8		国スポでの実績や経験を今後も継承できるよう、関係機関等に対し、スポーツツーリズムに対するニーズ調査等を行い、受け入れ環境整備に努める。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	B								
		R2	A								
・ 官民連携によるスポーツコミッション組織の育成	「嬉野市スポーツ大会キャンプ誘致推進協議会」において官民連携による取組について協議を行った。	R8		協議会加盟団体間の連携をより深め、スポーツコミッション機能の強化を図る。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・ スポーツを市民みんなで支えるスポーツサポーター制度の充実	国スポ・全障スポでは、「支える」側として多くの方に大会に携わっていただいた。その他、スポーツイベントにおいてもイベント運営に協力いただき、スポーツサポーター制度の認知は高まった。	R8		国スポを機に、スポーツサポーターとして登録された方々が、今後も定期的に活躍される機会を創出することが重要と考える。							
		R7									
		R6	A								
		R5	B								
		R4	B								
		R3	B								
		R2	A								

(6)ひとにやさしいまちづくりの推進											
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値				把握方法			
外国人や障がい者にも対応できるユニバーサルデザイン(UD)ガイド登録者数	50人	H30	29人	17人				実績			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				29	17	17	17	17			
「ボッチャ」競技参加人数(延人数)	1,800人(延人数)	H30	420人	1,193人(延人数)				実績			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				202	558	917	1,048	1,193			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)								備 考		
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・市全体での「バリアフリーなおもてなし」のための受入れ体制(ハード・ソフト)の拡充	宿や観光施設等に館内点図・音声版を引き続き作成した。 ・H28年度から作成21施設のうち点図のみ 4施設 点図・音声 17施設 ・点図による館内案内図及び音声案内(新規)1施設(改修後再作成)2施設。 ・月一開催の理事会で手話のワンポイントレッスンをを行った。 ・介護用品が必要な方への貸し出しサービスを行った。延べ592日		R8		管内点図などのハード面に加え、手話講和、介護器具の貸し出しなどのソフト面での充実を図る。ホームページの充実を図る。				※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要		
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							
・市全体での「暮らしのバリアフリー」やUDの意識向上および普及啓発の推進	・市内の小学生を対象とした「心のバリアフリー教室」を開催した。7校8回157名。 また、観光庁が実施している「心のバリアフリー認定制度」の推進並びに取得のための講習会(個別18回、集団2回)を開催し、申請指導を行った。		R8		今後もバリアフリーやUDの意識向上、普及啓発のために講習会等を継続して開催していく。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							
・誰もが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツ・レクの普及促進	・第15回ニューミックステニス大会を開催。 29名参加。(車いす利用者20名、健常者9名) ・第10回うれしのレクボッチャ大会を開催。 145名(32チーム)参加。		R8		誰もが一緒に楽しめるようイベントの効果を高めていく。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							
・市内におけるバリア状況調査やバリア情報発信の充実	・宿泊施設等のUD化を推進すべくアドバイスをを行った。5件 ・問い合わせに対し、パーソナルバリアフリー基準に基づいた情報発信を行った。 問い合わせ件数 106件 調査件数41件 ・活動報告、補助金情報等をBFTC通信として年4回市内各組織に発行し、障がい者等への理解を深めるよう啓発を図った。 ツイッター15回・Facebook13回・HP15回:合計43回更新。		R8		今後も各方面に向け情報を発信していく。またHP等の更新を行い、広く周知していく。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							
・建築物・道路・公園・公共交通などまちづくり全体にかかるUD化の促進	市内・県内の不特定多数の方が利用する施設等のバリアフリー化のアドバイス、補助金等の相談を行った。 52施設		R8		今後も公共的施設のUD化無料相談及びバリアフリー調査を実施していく。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・連携協定校である佐賀女子短期大学等との連携強化によるUDに関する環境整備	・うれしのレボッチャ大会の運営協力 ・佐賀県ボッチャ協会 ・嬉野市社会福祉協議会 ・佐賀嬉野BFTC理事 ・ニューミックス大会の運営協力 ・佐賀県車いすテニスクラブ 「心のバリアフリー教室」開催の協力 ・嬉野市社会福祉協議会	R8	女子短大との連携強化に向け、他市町の事例を研究していく予定。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7		
		R6 B		
		R5 B		
		R4 C		
		R3 A		
		R2 A		
・「バリアフリー観光」のための佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターの活動支援	①電話・メール・パンフレット等を利用し、寄せられる問い合わせに対し、パーソナル・バリアフリー基準に基づいた情報提供を行い嬉野市のイメージアップと観光客の誘致に務めた。 問い合わせ件数(宿泊等)・窓口9件 電話94件 メール3件 ②観光庁が推進する「心のバリアフリー認定」に係る取得に向け、町内宿泊施設及び飲食店に対し、出前講座を実施し、取得までのサポートを行っている。	R8	バリアフリー観光のために、問い合わせに対し適切な対応を行う。 今後も市からは、佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターの活動に対して委託料・補助金の支援を行う。	
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		

(7)ふるさと教育の推進・関わりたいまちの推進

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
「本市に(将来は)住みたい・戻ってきたい・貢献したい」と回答する市内在住高校生の割合	70.0%以上	R1	62.1%	—			※アンケート未実施 R7年度実施予定				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				—	—	—	—	—			
ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)の寄附者数	168,100人/年	H30	104,331人/年	84,762			実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				163,189	170,800	150,165	107,012	84,762			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)									備 考	
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・「嬉野学(郷土学習)」による郷土愛の育成および心の教育の推進	市内12校すべての学校で総合的な学習を中心に「嬉野学」に取り組み、地域の方々とふれあうことで、郷土愛を育む心の教育が実践できた。市の現状に合った副読本「わたしたちの嬉野市」を活用した。	R8		「嬉野学(郷土学習)」を地域の方と協働して行っていく。内容については、適宜見直していく。 改訂された読本「わたしたちの嬉野市」を活用し、ふるさと嬉野に愛する子供を育てる。						※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要	
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・地域・学校・家庭のサポートによるコミュニティ活動など地域活動への参加促進	コロナ禍により中止、縮小されていた地域活動について、その意義を見直し、再開される活動も見られてきた。	R8		各地域の状況に応じて、よりよいコミュニティ活動が展開されるよう、学校運営協議会などにおける協議を深めていく。							
		R7									
		R6	B								
		R5	B								
		R4	D								
		R3	A								
		R2	A								
・郷土の歴史を次世代に受け継ぐための「嬉野市史」の編さん	市史編纂委員会、市史編集委員会を開催しながら編纂計画に沿った事業を遂行したが、令和6年度末の刊行を予定していた上巻・下巻については、執筆の進捗状況の遅れから、編纂委員会での審議を行ったうえで、刊行時期を令和7年度に延ばすことになった。	R8		市史作成の専門事業者の支援を得ながら、嬉野市史(上巻・中巻・下巻・資料編)を刊行する。							
		R7									
		R6	B								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	B								
・本市に関わりを持ってもらうためのシティプロモーション等の強化	市民宣伝部やインフルエンサーマーケティング、福岡圏域へのCM放送などで、推計332万人以上に嬉野市のシティプロモーションを行った。	R8		宣伝部など市民と協働したシティプロモーションを継続、拡大していく。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	B								
・ふるさと応援寄附金事業および企業版ふるさと納税事業の推進	寄附返礼品の拡充(トラベルクーポン)や返礼品事業者掘り起し等に取り組んだ。返礼品傾向に伴い前年度実績は一昨年から現象の寄附受入額となった。(個人版:約21.6億円・企業版:1件)	R8		さらなる魅力発信や返礼品開発・寄附窓口拡充、企業版マッチングなど、寄附増大のための取組みを実施していく予定。							
		R7									
		R6	B								
		R5	B								
		R4	B								
		R3	A								
		R2	A								

基本目標② 嬉野市で働きたい”しごと”をつくる											
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値				把握方法			
新規雇用者数(7ヵ年累計)	220人(累計)	H26～30	30人(累計)	110人(5ヶ年累計)				実績 (担当課調べ)			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				0	58	38	62	10			
(1)企業誘致ビルを活用した新たな雇用の創出											
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値				把握方法			
企業誘致による新規雇用者数	200人(累計)	H26～30	12人	84人(5ヶ年累計)				実績 (担当課調べ)			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				0	6	28	44	6			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・ 企業誘致ビルへの入居企業の獲得	企業誘致ビルの入居企業は増えず。	R8		県と密なる連携を取りながら引き続き入居企業の獲得に向けて取り組みを進めていく。					※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要		
R7											
R6	A										
R5	A										
R4	A										
R3	A										
R2	B										
・ 県や各関係機関等と連携した企業誘致活動の強化	県と連携した企業誘致活動を行い、東京でのマッチングイベントへの参加や、嬉野市での企業訪問への対応を行った。	R8		企業の誘致に繋げるべく引き続き県と密なる連携を図っていく。加えてハローワーク、学校等各種機関とも連携し、企業誘致活動を強化していく。							
R7											
R6	A										
R5	A										
R4	A										
R3	A										
R2	A										
・ 企業進出しやすい企業誘致支援制度の拡充	進出企業に対する奨励金制度の拡充はせず、進出企業への有意義な情報提供、進出企業がつながりたい地元事業者の紹介等の支援を実施した。また、教育機関での企業説明会、嬉野市主催での合同企業説明会を実施し、企業と学校、就活者のつながりを得た。	R8		企業のニーズを把握しながら、奨励金による支援の他、進出後の人材確保や事業に関しての支援策を引き続き行っていく。							
R7											
R6	A										
R5	A										
R4	A										
R3	A										
R2	C										
・ 企業誘致にかかるプロモーションの充実	企業誘致に係るオンラインセミナー等により情報収集し、嬉野市のプロモーション資料に反映させ、マッチングイベントや企業訪問時にPRを行った。	R8		企業のニーズを把握し、選ばれまちを目指してプロモーションを強化していく。							
R7											
R6	A										
R5	A										
R4	A										
R3	A										
R2	A										

(2)地場産業を支える企業支援・起業支援の推進											
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
市内企業支援およびマッチング支援による新規雇用者数	14人(累計)	H26～30	5人	0人(5ヶ年累計)			企業誘致奨励措置(地場企業)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				0	0	0	0	0			
市が支援した起業件数	14件(累計)	H26～30	6件	25件(5ヶ年累計)			地域商業活性化事業(空き店舗改修)実績 移住促進応援金実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				2	3	4	11	5			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・市内企業に対する奨励制度等の支援拡充	企業等誘致条例の奨励措置適用条件に該当する企業の事業所増設分に係る固定資産税相当分の一部を助成した。また、先端設備等導入支援による企業支援も引き続き実施し、4件の認定を行った。	R8		中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入支援を行い、市内事業者の労働生産性向上に努める。	※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要						
		R7									
		R6	A								
		R5	B								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・移住や空き店舗活用等による起業支援の拡充	移住促進応援金起業支援を通じ15件の支援を実施した。(R5～R6年度)	R8		空き店舗を条件とした補助金が観光商工課にあるため、連携を強め活用につなげていきたい。また、移住促進応援金起業支援については好調であるが、対象経費(事業用or私用)の線引きを明確化する必要がある。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・関係機関と連携した創業スクール開催等の創業支援の拡充	嬉野市商工会と連携し、創業スクールを開催し、起業家等へ創業計画に対する支援を行った。	R8		引き続き、嬉野市商工会と連携し、創業スクールを開催することで、創業希望者等が円滑に事業経営を行えるよう支援する。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・市内企業への若者や女性・障がい者の雇用促進・啓発	武雄市との連携で雇用創出・スタートアップ支援時事業(よかワーク)を実施し、子育て中の母親等への雇用の機会を提供した。	R8		今後も引き続き事業を実施し、嬉野市民への働く場の提供、嬉野市内企業への働き手の確保を継続していく。また、連携自治体の増加を図り、1自治体の財政負担軽減を図る。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	B								
		R2	A								
・UJIターン等の移住希望者に対する域内企業情報や就業相談の充実	移住相談の際に、ハローワークの求人情報を提供している。また、県のしごと相談室と連携した就業相談を行っている。	R8		誘致企業や地場企業など人手不足企業の求人について、確実に移住希望者へ届くように、域内企業と連携する体制を整えたい。							
		R7									
		R6	B								
		R5	B								
		R4	B								
		R3	B								
		R2	B								
・市内企業へのインターンシップ受入れ体制の強化・支援	ゼミ合宿補助金を創設し、PRを行った。ただし、申請はなし。	R8		引き続き情報収集を行い、PR等進めていく。							
		R7									
		R6	A								
		R5	B								
		R4	B								
		R3	C								
		R2	C								

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・ 大学等のサテライト教室開催や連携する大学との共同研究の実施	嬉野サテライト講座(佐賀女子短期大学)の開催、佐賀地域経済研究会(佐賀大学等)への取組を進めた。	R8	様々な分野やテーマにおける課題解決に向け、今後も大学等との積極的な連携を行っていききたい。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		
・ 新商品・新サービス開発及び販売に対する支援	経営革新計画の認定を受けた事業者がその計画を達成するために必要な経費(新商品開発に係る経費、開発した商品の市場調査や広報に係る経費等)を支援した。実績4事業者。	R8	引き続き、事業を実施することで、市内事業者が新商品の開発やその商品の販売をしやすい環境を整備していく。	
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 C		
		R3 -		
		R2 -		
・ 隙間時間を活用した就労希望者と企業等とのマッチング支援	武雄市との連携で雇用創出・スタートアップ支援時事業(よかワーク)を実施し、市内における労働力不足の解消に取り組んだ。宿泊業・農業等、繁忙期と閑散期のある市内事業所等での成果が大きかった。	R8	これまでの取組の中で、得られた成果や課題点を分析し、今後も市内の人手不足の解決に向けて取り組む。また、就労希望者の選択肢が増えるよう、登録企業の増加を目指す。	
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 -		
		R2 -		

(3)魅力ある地域商工業の創造												
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績								
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法					
観光消費額	17,591百万円/年	H30 (暦年)	14,408百万円	17,390百万円/年			R6観光客動態調査					
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
				7,987	7,769	12,621	15,990	17,390				
商店街の空き店舗率	12.9%以下	H30	17.8%	19.9%			空き店舗データ					
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
				18.4%	21.2%	23.9%	23.5%	19.9%				
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)								備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)								
・金融機関等と連携した市内中小企業への事業資金融資等の支援	金融機関に融資資金を預託し、保証料を負担することで、市内中小企業が融資を受けやすくし、経営の安定及び高度化を図るための支援を行った。コロナ禍が明け、徐々に利用者が増加している。		R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	引き続き事業を継続し、市内事業者が安定的に経営ができるよう支援し、市の産業振興を図る。				※評価欄について A:計画的に事業実施・実施済 B:一部事業実施 C:事業検討・準備段階 D:未着手・事業休止・事業見直し必要				
・県や商工団体等と連携した地元企業の経営支援および地域産業の担い手育成・支援	令和4年度に認定を受けた「認定経営発達支援計画」に基づき、市内事業者の持続的経営力強化や事業承継・創業推進を支援した。		R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	市場の縮小や後継者不足に悩む市内事業者の課題を解決するべく伴走支援を実施していき、引き続き商工会等と連携していく。								
・空き店舗活用など商店街等活性化施策の推進・支援	県の補助金を活用し、商店街での開業を目指す者への支援を行う準備はしていたが、令和6年度中は、申請者がなかった。		R8 R7 R6 B R5 A R4 B R3 B R2 A	今後も嬉野・塩田各地区商店街において、商工会や商店街と連携し空き店舗活用による創業者への開業支援を行っていくことで、市内の空き店舗率の減少を図る。								
・魅力的な新商品・新サービスの開発や販路拡大のための支援	本施策を直接的に達成するための事業(地場産品ものづくり支援事業、中小企業販路開拓事業)は令和4年度で終了したため、具体的な取組はなし。		R8 R7 R6 D R5 D R4 A R3 A R2 A	新商品開発や開発商品の市場調査や広報のための経費を支援するための事業(経営革新計画応援事業)を令和5年度から実施している。								
・キャッシュレス決済導入の促進・支援	市でのキャッシュレス決済導入支援策は令和2年度までで終了した。県の事業を活用したキャッシュレス決済導入への啓発等を実施した。		R8 R7 R6 B R5 B R4 A R3 A R2 A	嬉野市は観光地でもあることから、インバウンド対策としても、未導入の店舗等には、引き続き普及・啓発に努める。								
・消費拡大や販路開拓のための地域特産品やサービス等のプロモーション充実	シュガーロードや肥前窯業圏等、日本遺産関連にて、他市町と共同でイベント出展を実施した。		R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	今後もシュガーロードや肥前窯業圏等の日本遺産を活用したプロモーションを展開していく。								
・賑わい創出企画など地域産業活性化に資する各種商工団体等の活動推進・支援	「うれしの土曜夜市」や「吉田皿屋ひかりぼし」など、各種団体が実施するイベントに関し、必要な支援を行った。		R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	市内産業に活性化をもたらす企画・イベント等に関し、今後も実施団体と協力しながら支援等を行っていく。								

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・ポイントカードを活用した地域内消費の促進	市民を対象に「うれしかーどポイント交付事業」を実施し、市内経済の活性化を図った。また、他部署と連携し、健康マイレージやスポーツサポーターへのポイント付与を行い、域内消費促進を実施した。	R8	今後も嬉野温泉商店サービス会や商工会と連携をとりながら事業を行っていく。また、他部署との連携を拡げ、更なるポイント活用を図る。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 -		
		R2 -		

(4)うれしの茶の生産振興と販路・需要開拓うれしの茶の販路・需要開拓

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
市内生産者の うれしの茶販売高	795,500千円/年	H30	794,000千円/年	583,665千円/年			西九州茶連実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				596,177	709,918	748,880	644,497	583,665			
海外販路開拓に向けた 商談成立件数	100件(累計)	H26～30	13件(累計)	60件(5ヶ年累計)			佐賀県茶商工業協同組合				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				2	26	22	5	5			
海外販路開拓による うれしの茶出荷量	12.9トン/年	H30	8.1トン/年	2.9トン/年			県茶商調査				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				0.5	1.2	2.1	2.2	2.9			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・茶業生産基盤強化のための 取組み支援	さが園芸888整備支援事業を中心 に、機械の導入や、茶園整備 等に対しての補助事業を実施 してきた。 (さが園芸888整備支援事業実 績 12件 70,190千円)		R8		茶業情勢の変化や生産者の ニーズに対応しながら今後も事 業の継続や見直しによる支援 を行っていく。			※評価欄について A:計画的に事業実施・実 施済 B:一部事業実施 C:事業検討・準備段階 D:未着手・事業休止・事 業見直し必要			
R7											
R6	A										
R5	A										
R4	A										
R3	A										
R2	A										
・優良品種導入事業等による 高品質茶生産拡大の支援	高品質のうれしの茶の生産と 農家の所得向上を図るため、 優良品種導入に対しての補助 事業を実施、また全国茶品評 会に向けた肥料補助を実施し た。 (うれしの茶優良品種導入事業 費補助 6名 2,100本 42千 円) (全国お茶まつり佐賀大会嬉野 市準備委員会事業 1,586千 円)		R8		茶業情勢の変化や生産者の ニーズに対応しながら今後も事 業の継続や見直しによる支援 を行っていく。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							
・新商品開発等による高付加 価値化の促進	うれしの茶需要拡大対策事業 やうれしの茶PR活動推進事業 による、うれしの茶エキスパウ ダー制作・いい茶こPR、企業と の商談会出展等を実施した。		R8		今後も広く情報収集しながら新 商品開発を検討するとともに、 これまで開発した商品の流通を 図る。						
			R7								
			R6	B							
			R5	B							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	B							
・茶業関係機関と連携した海外 販路開拓の推進・支援	お茶輸出や交流のため台湾へ の視察を実施、また商談会へ 出展し輸出関連事業者との意 見交換を実施		R8		現在海外での需要が高い抹茶 の原料である碾茶の生産や有 機栽培に対する支援体制を強 化するとともに、販路拡大につ ながる取り組みを実施してい く。						
			R7								
			R6	B							
			R5	B							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							
・茶業関連団体各種協議会・ 団体等の活動推進・支援	釜炒茶協議会・嬉野銘茶塾・茶 業青年会・紅茶振興協議会・う れしの茶活性化委員会・佐賀 県農業協同組合・佐賀県茶商 工業協同組合に対し、各団体 への補助金交付及び活動支援 を実施した。		R8		各団体との意見交換を行い支 援内容等を見直しながら今後も 支援を行っていく。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
			R2	A							

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)				備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)		
・うれしの茶交流館を活用した「うれしの茶」発信およびブランド力の強化	うれしの茶交流館での年間イベントやSNSを活用したPRを実施した。	R8		令和6年度に指定管理者を選定し、令和7年度から指定管理とし、民間の力を活用したうれしの茶交流館でのうれしの茶のPRを行っていく。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	A		
		R3	A		
		R2	A		

(5) “うれしのブランド”づくりと稼ぐ農業の推進

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
“うれしのブランド”野菜の作付面積	150a	R2	80a	120a			JA、振興センターとの連絡調整会議				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				－	120	120	120	120			
酒造用米(山田錦)の作付面積	22ha	H30	18ha	28ha			水田台帳				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				15	16	19.2	20.3	28			
農村ビジネスサポート事業の取組み件数	10件/年	H30	6件/年	2件/年			事業実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				－	19	0	0	2			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・ 農業基盤整備や生産体制強化のための取組み推進・支援	ハウス団地を整備することで、農用地の面的集積、利用集積に加え、収益性の高い施設園芸作物が導入可能な生産基盤の整備及び安定的な農業経営の基盤が図られた。		R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	収益性の高い施設園芸作物が導入可能な生産基盤の整備を行う予定			※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要				
・ 需要の高い農作物の作付拡大や品質向上など地域ブランド確立のための取組み推進・支援	酒造好適米として高品質な「山田錦」を生産する団体を、JAとの連携により支援を行った。省力化に努めるため直播法の取組みを実施。		R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	より良い品質の「山田錦」を生産するため、五町田地区酒米生産組合を支援していく。また、機械等を有効活用して作付面積拡大が図られるよう支援していく。							
・ 女性や高齢者等の就農促進および収益性向上につながる取組み推進・支援	お茶農家の端境期対策として時間当たりの高所得が望める「西洋野菜」の取組み支援を行った。今年度末、約1.2haの面積で作付を実施。		R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	西洋野菜のブランド化に努め、販売戦略の構築を図る。							
・ 各関係機関等と連携した6次産業化に関する取組みの推進	令和6年度においては、具体的な取組みに至らなかった。		R8 R7 R6 B R5 B R4 B R3 B R2 A	関係機関と連携しながら6次産業化への取組みを推進していく。							
・ 各関係機関等と連携した都市農村交流に関する取組みの推進	令和6年度においては、中山間地域振興を対象とした講演会や、グリーンツーリズムに関する視察研修を行った。		R8 R7 R6 A R5 A R4 C R3 C R2 D	関係機関と連携しながら、都市農村交流事業の取組みを推進していく。							
・ スマート農業に取り組む農業者等への研修や機器導入の支援	スマート農業に取り組む支援策を設けていたが、導入希望者がなかった。		R8 R7 R6 B R5 B R4 B R3 B R2 A	スマート農業の研修会・機械導入を図り、省力化への取組みを推進する。							

(6) 活力ある農業担い手の育成と農業後継者の確保

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
任意営農組合の法人数	12組合	H30	8組合	8組合			嬉野市営農組合連絡協議会名簿				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				8	8	8	8	8			
トレーニングファームによる 市内での就農者数	13人(累計)	R2	4人(累計)	9人(累計)			TF運営協議会資料				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				-	4	1	2	2			
青年就農者数	32人	H30	19人	32人			青年就農給付金 受給者名簿				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				24	29	32	30	32			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・ 集落営農組織の育成および 経営体法人化の推進	平成29年度末までに市内8つの農事組合法人が設立。今年度は、重点地区を設定し、法人化への支援を実施。	R8		法人化されている組織への支援とともに、重点区域や中山間地域において法人化等の組織化に向けて、関係機関で支援していく。				※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要			
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・ 認定農業者の育成と活動支援	認定農業者の新規及び再認定の支援を行った。また、地域計画への位置づけを行った。	R8		人・農地プランに位置づけられる認定農業者の掘り起こしに努める。また、地域計画への位置づけを行う。							
		R7									
		R6	A								
		R5	B								
		R4	B								
		R3	B								
		R2	B								
・ 新規就農者や女性就農者の 育成と活動支援	新規就農者5年以内で組織する「新農会」を立ち上げ、新規就農者の支援活動を行った。	R8		今後は、就農5年を過ぎた生産者で組織する会を立ち上げ、営農支援等を行う。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								
・ 農業次世代人材投資資金等 を活用した農業後継者確保の 促進	令和6年度末の給付金受給者総数は、修了者16名、中止者0名、現受給者13名の計29名となった。	R8		きゅうりのトレーニングファーム修了生2名が新規に就農予定。今後も、これまで同様、関係機関と連携しながら候補者の掘り起こしや広報を行っていく。							
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								

基本目標③ 嬉野市で結婚・出産・子育てしたい”まち”をつくる

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績					
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値	把握方法				
出生数(7カ年累計)	1,400人(累計)	H26～30	945人(累計)	779人(5ヶ年累計)	住民異動月計表(リストナビ)				
				R2 R3 R4	R5	R6	R7	R8	
				174 166 169	149	121			
婚姻数(7カ年累計)	840組(累計)	H26～30	566組(累計)	593組(5ヶ年累計)	住民異動届				
				R2 R3 R4	R5	R6	R7	R8	
				158 127 112	108	88			

(1) 出会いをサポートする結婚支援

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績					
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値	把握方法				
出会いの場におけるカップル成立数	110組(累計)	H26～30	68組(累計)	18組(5ヶ年累計)	実績				
				R2 R3 R4	R5	R6	R7	R8	
				5 0 4	6	3			
結婚支援事業登録者数	150人	H30	101人	15人	実績				
				R2 R3 R4	R5	R6	R7	R8	
				67 42 36	24	15			

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)				備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)		
・ お見合いや婚活イベント開催等による男女の出会いの場の創出	イベント実施により出会いの場の創出ができた。イベントを通して男女で協力することや自分磨きができ、事業の推進ができた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 B R2 A	出会いの場の提供、婚活相談、セミナー、出逢いのイベント等の結婚支援事業を展開して行く。また、県や近隣の市町とも連携してイベントの開催を考えたい。		※評価欄について A:計画的に事業実施・実施済 B:一部事業実施 C:事業検討・準備段階 D:未着手・事業休止・事業見直し必要
・ 結婚支援相談員やサポーター等の育成	支援希望者がなく結婚支援相談員による支援なし。サポーター等の育成はできなかった。	R8 R7 R6 B R5 B R4 B R3 B R2 A	結婚相談に対するアドバイス等やイベント参加を促す。少人数でのイベント等も実施したい。		
・ コミュニケーション力の向上など独身者向けスキルアップ講座の開催	婚活イベントと組み合わせて、講師によるスキルアップセミナーの実施で参加者のイベントに対する高揚ができた。イベントの実施で男女の出会いの場の創出、自分磨きの契機となり、事業推進ができた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 B R2 A	色々な分野を通じて、イベント、スキルアップセミナー等を実施していきたい。		
・ まちづくり団体等が実施する婚活イベントなどの取組み支援	婚活セミナー、婚活イベントを開催した。セミナーとイベントを組み合わせることにより効率よく事業を推進できた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 C R2 A	婚活イベントで出会いを作り、その後の交際や結婚までつながればと考える。イベントへの集客も課題と考える。		
・ 結婚機運の醸成および結婚支援情報に関する発信の強化	セミナー、イベントの案内チラシを登録者や結婚応援事業者に配布。HP等や市内に班回覧でもお知らせした。結婚新生活支援事業の補助金も周知ができ、認知度が上がったと感じた。	R8 R7 R6 B R5 B R4 B R3 A R2 A	今後は、イベントの情報発信に、もっと取り組みたい。		

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)				備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価		今後の取組(予定・課題等)	
・他自治体や民間事業者等と連携した結婚支援事業の推進	民間事業者と連携し、委託して婚活イベント・セミナーを実施した。	R8		今後も、民間事業者とのイベントを計画したい。今後、近隣市町と連携できるイベントも考えていきたい。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	A		
		R3	B		
		R2	B		

(2) 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績						
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法			
訪問指導・健康相談件数 (妊産婦、乳幼児、学童)	4,000人/年	H30	3,838人/年	1,845人/年			母子保健報告			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				3,946	2,254	2,010	2,030	1,845		
電子母子手帳アプリ(ゆっつ ら子育てアプリ)ユーザー数	550人	R2	398人	703人			母子手帳アプリ 管理ツール			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				－	416	522	598	703		
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考		
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)						
・ 広域連携による夜間・休日小 児救急医療の提供	小児の第1次救急医療体制の 確保及び住民に対する救急医 療の普及啓発を図るため、広 域での夜間、休日小児診療を 実施している。		R8		小児の急な発病にいち早く対 応し、市民が安心して生活で きるよう引き続き事業に取り組 む。				※評価欄について A: 計画的に事業実施・実 施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事 業見直し必要	
			R7							
			R6	A						
			R5	A						
			R4	A						
			R3	A						
			R2	A						
・ 妊娠・出産期から乳幼児・学 童期に至るまでの母子サポート 体制の充実	母子健康手帳交付、赤ちゃん 相談、すくすく親子相談等の場 面で看護職に関わり、継続的な 相談支援を行っている。また、 学童期に繋がるように学校教 育課と連携して相談支援を行っ た。		R8		妊娠期から継続して看護職で 関わり、相談しやすい環境を整 える。					
			R7							
			R6	A						
			R5	A						
			R4	A						
			R3	A						
			R2	A						
・ 子育て世代包括支援セン ターを中心とした母子相談・支 援の充実	子育て世代包括支援センター に保健師を配置し、母子福祉 部門と連携し相談・支援を行っ た。		R8		令和7年度より、子育て世代包 括支援センターと児童福祉部 門が合体して「こども家庭セン ター」を設置した。こども家庭セ ンターは子育て未来課・学校教 育課等で設置しているため、連 携して機能を充実させていく。					
			R7							
			R6	A						
			R5	A						
			R4	A						
			R3	A						
			R2	A						
・ 母子保健に関する情報発信 等の充実	母子モ・市報・ホームページ掲 載や幼児健診でのチラシ配布 をして情報発信をおこなった が、市の母子保健事業の情報 を十分に伝えきれていない。		R8		赤ちゃん訪問時や母子モによ る情報発信が不足していたの で、今後は訪問時や母子モを 含め情報発信を進めていく。					
			R7							
			R6	B						
			R5	B						
			R4	A						
			R3	A						
			R2	－						
・ ゆっつら子育て応援給付金 (妊婦のための支援給付金)の 給付	〈実績〉 出産応援給付金(1人5万円) 130人 子育て応援給付金(1人 5万円)129人 面接を行い、申 請・給付を行えた。		R8		R7年度より、子ども。子育て支 援法に基づき、国・県の補助事 業で妊婦等に対し妊娠期から 切れ目のない支援(給付金、妊 婦等包括相談支援)を行ってい く。					
			R7							
			R6	A						
			R5	A						
			R4	－						
			R3	－						
			R2	－						

(3)安心して子どもを育てられる環境づくりの推進										
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績						
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法			
病児保育事業利用者数	50人/年	H30	40人/年	91人/年			利用者実績 (他市町利用者含む)			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				17	43	10	55	91		
ファミリー・サポート・センター事業利用者数	800人/年	H30	239人/年	533人/年			利用者実績			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				591	612	731	852	533		
日頃から家事(育児・介護を含む)に関わる男性の割合	85.0%以上	H28	68.7%	—			男女共同参画に関する市民意識調査(R3年度実施)			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				—	74.6%	—	—	—		
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考		
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)						
・「こどもセンター」を中心とした妊娠・出産・子育て・教育等の相談支援の充実	さまざまな企業・保育施設や県等と協働し、毎月いろいろな企画を実施することで、多くの親子の利用につながった。また、フードバンク佐賀との連携による日用品や食料品の提供、利用者同士のベビー用品のおゆずり会などで物価高騰により困窮する世帯への一助となった。		R8	利用者支援事業の開設場所の移設について検討が必要。			※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要			
			R7							
			R6						A	
			R5						A	
			R4						A	
			R3						A	
			R2						A	
・ 育児不安・孤立化の解消や子育て相談・交流を促進する地域子育て支援センターの充実	10ヶ月児訪問を継続し、相談による育児不安解消や地域子育て支援拠点事業の周知をすることにより育児による孤立を防ぐよう努めた。また、子育て関係のイベントを頻繁に開催するにより、センターを利用される保護者同士が交流しやすい環境作りや保護者にとって職員にも相談しやすい環境作りができた。		R8	SNS(Instagram)を利用してイベントの告知をこまめにしていくことで、さらなる利用促進を図るよう努める。父親達も利用しやすい環境づくりが必要。						
			R7							
			R6				A			
			R5				A			
			R4				A			
			R3				A			
			R2				A			
・ 保育サービスの充実および乳幼児や障がい児の保育の場の確保	医療的ケア児を受け入れている園に対して備品購入や看護師確保のための補助を行った。特別児童扶養手当受給者や療育手帳所持者を受け入れている園に対して保育士確保のための補助を行った。		R8	乳幼児や障がい児をもつ保護者からの相談を受け、園の職員体制や空き状況を確認しながら円滑な入所を支援していく。						
			R7							
			R6				A			
			R5				A			
			R4				A			
			R3				A			
			R2				A			
・ ファミリー・サポート・センターの体制強化およびサービス利用の促進	サポーターの資質向上研修・利用料金の助成を継続。ファミサポ交流会を開催することで、会員同士の交流のほか、サービス利用の周知に努め利用促進を図った。子育て支援センターでの預かりを行う事で保護者の不安を軽減し、利用につながった。		R8	サポーターの数を増やすとともに質の向上に努め、安心してサービスを利用できるようにしていく。						
			R7							
			R6				A			
			R5				A			
			R4				A			
			R3				A			
			R2				A			
・ ひとり親家庭への医療費助成や応援給付等の子育て支援および自立に向けた就業支援	ひとり親家庭医療費助成及びひとり親子育て世帯応援給付金事業により、各世帯の経済的負担の軽減につながった。また、就業支援相談により自立支援事業の利用に繋がった。		R8	引き続き、ひとり親家庭医療費助成及びひとり親子育て世帯応援給付金事業により、ひとり親世帯の経済的負担の軽減に努める。就業支援相談により自立に向けた支援を行う。また、ひとり親家庭医療費助成事業について現物給付化への移行に向けて内容の見直しも検討する。						
			R7							
			R6				A			
			R5				A			
			R4				A			
			R3				A			
			R2				A			

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・「女性・子ども家庭支援センター」を中心とした児童虐待・DV等の家庭総合支援の充実	女性・子ども家庭支援センターを置くことにより、多くの関係機関との連携が取れた。市内保育施設や各学校へ積極的に出向くことで、顔の見える関係を構築し、要支援児童等の情報共有や地域の実情把握に努め、早期の対応・支援に結びついた。	R8	今後も、児童虐待やDV等の早期発見に努め、適切な支援に結びつくよう、相談員のキャリアアップに努めながら、事業を継続していく。こども家庭センターの令和7年度設置に向けて、母子保健部門との協議を進める。	※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		
・早期支援コーディネーターによる幼保小連携および放課後児童クラブ等による子育て支援	就学移行期に情報共有の引継ぎがスムーズに行えた。専用施設を建設しクラブ数を増やすことで待機児童の解消を図ってきた。	R8	今後も教育部局との連携を図りながら、支援体制の充実を図っていく。 放課後児童クラブについては委託業者と連携し、放課後児童支援員の人材確保及び質の向上を図っていく。	
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 D		
		R2 A		
・ワークライフバランスの充実および男女共同参画の意識向上のための取組み推進	男女共同参画の推進団体と連携して、男女共同の啓発映画を実施した。	R8	今後も推進団体と連携して、男女共同参画の推進を図りたい。市報やHP等で情報発信する。	
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		
・女性活躍の場を拡大するための取組み推進	【企画政策課 B】 地域コミュニティや事業所、公共施設へチラシを配布。 【広報・広聴課 A】 スポーツフューチャーセンターを活用し、まちの課題について多くの市民を情報を共有し、参加した市民が考える未来の嬉野市の姿についての議論やアイデアを共有することができた。また、課題感は総合計画等作成の基礎的な資料として引き継いでいく。	R8	【企画政策課 B】 今後も、国・県からの情報を発信していく。 【広報・広聴課 A】 スポーツフューチャーセンターは国費を入れた事業であったため、令和6年度をもって一旦終了した。今後も、広聴事業の一環としてこの取り組みの要旨を活かした事業展開を図っていききたい。	
		R7		
		R6 B		
		R5 B		
		R4 A		
		R3 B		
		R2 A		

(4)特色ある教育の推進と確かな学力の育成											
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
全国学力・学習状況調査 対象学年／実施教科 ・小6／国語、算数 ・中3／国語、数学 ※年度によって英語、理科も実施	小中学校とも調査 対象の全教科で市平均点が全国平均以上	R1	小6:全教科で市平均が全国平均以上 中3:全教科で市平均が全国平均以下(県平均以上)	小6:全教科で市平均が全国平均以上 中3:全教科で市平均が全国平均以下(県平均以上)			全国学力・学習状況調査結果				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				—	小6:国語は全国平均以上算数は全国平均以下 中3:全教科全国平均以下	小6:国語(100.6)算数(101.3) 中3:国語(102.9)数学(99.2) 中学校数学以外は市平均が全国平均を上回る。	小6国、中3算で全国平均を上回る 小6算、中3国英で全国平均を下回る	小6:全教科で市平均が全国平均以上 中3:全教科で市平均が全国平均以下(県平均以上)			
県小・中学校学習状況調査 対象学年／実施教科 ・小4・5・6／国語、算数、理科、社会 ・中1・2／国語、数学、理科、社会、英語	小中学校とも調査 対象の全教科で市平均点が県平均以上	H30	小6:理科・中2:国語以外の教科において、市平均が県平均以上	小5:国語で県平均以下、算数で県平均以上 中2:国数英の全教科で県平均以上			佐賀県小・中学校学習状況調査結果				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				国語:中1(99.8)、中2(99.8)以外の教科において、市平均が県平均を上回った。(県平均:100)	小6:算数、中1:国語、社会 中2:理科以外、県平均以上	小5:国語中1:国語英語以外は、市平均が県平均を上回る。	小5算、中2国数英で県平均を上回る 小5国で県平均を下回る	小5:国語で県平均以下、算数で県平均以上 中2:国数英の全教科で県平均以上			
小中学校のICT環境整備	無線LAN(普通教室)および可動PC(1人1台)の整備率:100%	H30	—	無線LAN(普通教室)および可動PC(1人1台)の整備100%完了【R3年度末】			実績(担当課調べ)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				無線LAN:80%(普通教室・特別教室)可動PC:67.7%	無線LAN(普通教室)および可動PC(1人1台)の整備100%完了	無線LAN(普通教室)および可動PC(1人1台)の整備100%完了【R3年度末】	無線LAN(普通教室)および可動PC(1人1台)の整備100%完了【R3年度末】	無線LAN(普通教室)および可動PC(1人1台)の整備100%完了【R3年度末】			
特別支援教育支援員の配置	必要とする全ての学校へ配置	H30	15人	17人			実績(担当課調べ)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				15	15	必要とする全ての学校へ配置(15名)	15	17			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)								
・『嬉野市副読本「生きる力」の教科書』の活用による自己解決力・自己防衛力等の育成および生きる力の伸長	これまで数年おきに2回の改訂を経て、より時代状況に適した内容を掲載し、児童生徒の育成につながってきている。令和6年度は3回目の改訂を行った。	R8		第4訂版を活用して、現在起きている様々な社会問題へ対応するための知識等を習得させる。					※評価欄について A:計画的に事業実施・実施済 B:一部事業実施 C:事業検討・準備段階 D:未着手・事業休止・事業見直し必要		
		R7									
		R6	A								
		R5	A								
		R4	A								
		R3	A								
		R2	A								

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・ 小学校の「子ども学校塾」による学習習慣の定着および中学校の「放課後等補充学習支援事業」による基礎学力の向上	中学校における放課後等補充学習支援事業を活用し、基礎的な学力の定着のための学習機会を設けることができた。一方、小学校における子どもの学習塾については、実施していない。	R8 R7 R6 B R5 B R4 B R3 B R2 A	今後も中学校における放課後等補充学習支援事業を活用し、引き続き生徒の基礎学力の定着を図る予定である。小学校においては、各校の実態に応じて学習習慣の定着に資する取組がなされている。	※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要
・ 国語辞典の支給・活用による語彙力等の育成	数年前から、辞書の配付は行われていない。	R8 R7 R6 C R5 D R4 A R3 A R2 A	各学校において、児童の状況を踏まえ、語彙力の向上を含め、様々な視点からの教育活動が実施されるよう、教員への情報提供や情報交換の機会を確保していく。	
・ より良い小中一貫教育の在り方に関する研究の推進	塩田中学校区による「小中連携による学力向上推進地域指定事業」(2年次)の実施。これにより、学力向上だけでなく生徒指導面でも連携を図ることができた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	塩田中学校区による「小中連携による学力向上推進地域指定事業」(3年次)の実施。2年目までの成果と課題を生かしながら、さらに連携を深めていく。	
・ 「校長先生の知恵袋事業」による校長のマネジメント力強化	事業を活用し、各学校特色を生かした教育活動ができた。年度末には、取組紹介及び次年度構想に関するプレゼンや資料の審査により、各学校長のマネジメント力を高めている。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	引き続き、「校長先生の知恵袋事業」による校長先生のマネジメント力の強化を行い、教育活動を更に充実させていく。	
・ 早期からの教育相談等による就学支援の充実	年2回の就学相談会と1回の年中児子育て相談を実施し、保護者及び幼保小の連携を図ることができた。年度末に、関係機関を含めた移行支援会議を行い、本人にとって必要な支援の共有ができた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	本年度も引き続き、児童生徒や保護者に寄り添った相談にのり、子どもの力が発揮できるように支援をしていく。	
・ 学校運営協議会を核とした地域コミュニティ組織との協働による学校づくりの推進	年に3回、各学校で学校運営協議会の実施。地域コミュニティと協働して、充実した取組ができた。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	地域コミュニティと協働して、充実した教育活動を行っていく。また、内容の見直しも適宜行っていく。	
・ タブレット端末や既存のICT機器を活用した授業の充実	学習支援ソフトと授業支援ソフトが導入され、授業改善が行われた。子どもにとって分かりやすく、また、個に応じた対応ができるようになった。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 A R2 A	教職員の端末活用に関する研修を行い、皆が同じように活用できるようにしていく。また、よりよい活用の仕方について情報共有していく。	
・ オンライン英会話による児童生徒の個別最適な学習の充実と「使える英語力」の育成	対象学年を全学年に拡大し、各発達段階に応じた学習が行われている。	R8 R7 R6 A R5 A R4 A R3 - R2 -	全学年における実施を継続する。	

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・ 多岐にわたる総合的な学習環境の整備	嬉野小学校の特別支援教室の増設工事が完了し、支援を必要とする児童の学習環境を改善することができた。また、バリアフリートイレの改修工事及びエレベーターの増築工事については進行中であり、令和7年度の完成を目指して引き続き整備を進めていく。	R8	バリアフリートイレ等改修工事及びエレベーター増築工事について、引き続き整備を進める。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7		
		R6 B		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 -		
		R2 -		

基本目標④ 嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
地域コミュニティ事業 への住民参加数	22,500人	H30	21,025人	21,914人			実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				12,950	13,446	16,584	19,610	21,914			
65歳以上人口に占める 要支援・要介護者の割合	17.00%未満	H30	17.32%	17.50%			杵藤地区広域市町村圏組合介護 保険事務所 市・町別要介護・要 支援者数R7.3.31現在				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				17.49%	17.57%	17.48%	17.74%	17.50%			

(1)コミュニティ活動等の推進

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
地域コミュニティ への市事業委託数	14事業/年	H30	7事業/年	7事業/年			実績				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				8	9	7	7	7			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・ 全地区地域コミュニティによる自主的・積極的な各種コミュニティ活動の推進・支援	各地域コミュニティの事業計画に沿った事業に取り組み、地域におけるまちづくりを推進することができた。	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	A A A A A A	今後もコミュニティ活動に治して交付金等の支援を行っていく。				※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要			
・ 地域コミュニティの活動状況等に関する情報発信の充実	各地区のコミュニティの活動を市報、市HP、行政無線による放送等で情報発信した。また地区内に各コミュニティからの活動チラシの配布をした、	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	A A A A A A	今後も各地域コミュニティの活動について情報発信の強化を図る。							
・ 各地区地域コミュニティの自主防災活動の推進・支援	各地域コミュニティで避難訓練や防災講話、非常食の炊き出し訓練、避難経路の確認な自主防災運連を実施した。	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	A A A A B A	コミュニティ、行政、小学校等で連携した防災訓練に取り組んでいく。							
・ NPOの設立・運営や各種CSOの活動支援および交流や情報提供の促進	NPOの設立・運営に関する問い合わせに対応した。	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	A A A A A A	今後も県の事業と団体との橋渡しを行っていく。またNPOの各種提出書類について、データ化による業務効率化を推進していく。							
・ 地域住民等による主体的な景観づくり活動の推進・支援	各地域コミュニティで美化活動(季節の花植栽)や清掃活動(草払い、ゴミ拾い)、不法投棄禁止看板設置に取り組んだ。	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	A A A A B B	今後も継続、拡大できるように推進していく。							

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・ 地域コミュニティセンターの整備・充実	地域コミュニティの一部事務局にパソコンを導入し、事務処理の作業効率をあげた。また老朽化した設備の修繕等を行った。	R8	定期的な事務用品(パソコン等)の入れ替えを進め、事務作業の効率化に努めるとともに、設備の修繕にも対応していく。	※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		

(2)安全・安心なまちづくりの推進										
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績						
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法			
消防団員数 (うち女性消防団員数)	900人 (34人)	H30	1,035人 (41人)	988人 (38人)			実績による			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				1,038人 (44人)	1,009人 (48人)	1,009人 (45人)	987人 (38人)	988人 (38人)		
防災メール登録者数	1,500人	H30	703人	1,259人			実績による			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				1,200	1,177	1,218	1,227	1,259		
市内人身交通事故発生件数	80件/年 以下	H30	121件/年	45件/年			実績による			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				81	68	50	69	45		
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考		
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)						
・消防団のPR・理解の促進および消防団員優遇措置等による消防団員確保の推進	消防団の格納庫や車両の横断幕・のぼり旗に「火の用心・消防団員募集」を掲げている。また分団ごとに広報パレードも実施した。	R8		さまざまな広報活動によるPRと、消防団員確保につながる取り組みを実施していく			※評価欄について A:計画的に事業実施・実施済 B:一部事業実施 C:事業検討・準備段階 D:未着手・事業休止・事業見直し必要			
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
・女性消防団等による防災広報活動の推進	毎月2回の定例広報のほか、年に2回実施される火災予防週間の分団毎広報活動にあわせ市内全域へ広報活動を実施した。春の火災予防週間には嬉野町と塩田町で街頭パレードを行い防火広報に努めた。	R8		これまでの取組を継続していく						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
・防災拠点整備の拡充および市民への防災・避難に関する情報発信の強化	各地区や各コミュニティの会合や防災訓練・講話等の場において、防災に関する説明等を行い防災意識の向上を図った。	R8		これまでの取組みを継続していく。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
・建物等の地震に対する安全性向上のための耐震改修の促進	耐震改修のチラシを回覧した。	R8		これまでの取組みを継続していく。						
		R7								
		R6	B							
		R5	B							
		R4	B							
		R3	B							
・警察・交通安全協会・交通安全指導員等と連携した交通安全運動の推進	交通対策協議会において協議して、それぞれが街頭指導・啓発活動を行った。交通安全県民運動に関するチラシを回覧した。	R8		これまでの取組みを継続していく。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
・防犯灯・防犯カメラ等の計画的な増設	令和3年度でLED化事業を終了した。	R8		防犯カメラに関しては、補助事業などを活用し設置箇所を増やしていく						
		R7								
		R6	C							
		R5	C							
		R4	A							
		R3	A							
		R2	A							

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)				備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)		
・空家等の把握や空家管理の啓発および特定空家等の指導・措置の実施	老朽空き家のパンフレットの回覧を行い、広報に努めた。また、市民、地域からの要請等により個別に老朽空き家の所有者に対して文書指導を行った。	R8		これまでの取組を継続していく	※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	A		
		R3	A		
		R2	A		
・「すべてのひと・自然にやさしい安全・安心なうれし舎(や)」を基本理念とした新庁舎整備	新庁舎建設実施設計が完了し、新庁舎建設工事に着手した。	R8		令和7年度中に嬉野第1庁舎解体設計及び新庁舎外構設計を完了する。 令和8年6月末新庁舎竣工予定。	
		R7			
		R6	A		
		R5	A		
		R4	－		
		R3	－		
		R2	－		

(3)健康長寿のまちづくりの推進

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
特定健康診査受診率	60%以上	H30	44.7%	48.3%			特定健診システム速報値				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				50.5%	46.7%	46.4%	45.9%	48.3%			
特定保健指導受診率	61.2%以上	H30	61.2%	64.9%			特定健診システム速報値				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				62.1%	61.4%	63.3%	66.7%	64.9%			
がん検診(胃がん)	13.3%以上	H30	9.1%	8.6%			実績による(地域保健事業報告)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				9.1%	9.1%	9.1%	8.6%	8.6%			
がん検診(子宮がん)	25.3%以上	H30	20.1%	16.8%			実績による(地域保健事業報告)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				19.0%	17.2%	18.1%	17.9%	16.8%			
がん検診(乳がん)	30.3%以上	H30	26.3%	20.4%			実績による(地域保健事業報告)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				23.5%	22.2%	22.5%	21.3%	20.4%			
がん検診(大腸がん)	20.4%以上	H30	12.7%	9.4%			実績による(地域保健事業報告)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				10.6%	11.2%	10.5%	9.8%	9.4%			
がん検診(肺がん)	18.2%以上	H30	11.5%	7.9%			実績による(地域保健事業報告)				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				9.1%	10.2%	9.3%	8.4%	7.9%			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・「嬉野市健康総合計画・食育推進計画」の推進	令和5年3月に「第4次嬉野市健康総合計画・食育推進計画」を策定し、各事業において取り組みを実践した。		R8		引き続き各事業毎に取り組みを継続して行う。健康づくり推進協議会及び食育推進会議において計画の進捗状況の把握・点検を行い、2027年度に中間評価を行う。				※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要		
R7											
R6	A										
R5	A										
R4	A										
R3	A										
・ 特定健康診査・特定保健指導実施率向上の推進	市報やホームページ等での広報に加えて、未受診者へ個別に勧奨し実施率向上に努めており受診率は回復傾向にある。保健指導に関しては、訪問や電話連絡を行い実施率を維持している。		R8		委託業者を活用しながら未受診者対策を行い、実施率向上に継続して勤める。保健指導に関しては、指導要員を増やして実施率の維持と指導内容の向上に務める。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							
・ がん検診受診率向上の推進	受診促進と普及啓発のため、市報やホームページ、SNS媒体等を活用して広報を行った。しかし、コロナ禍以降受診率は低下傾向にある。		R8		引き続き受診促進と普及啓発のため、市報、班回覧、ホームページ、行政放送、SNSを活用し受診を促していく。また、個別検診が充実してきていることから、受診票等のお知らせを同封して周知を図る。						
			R7								
			R6	A							
			R5	A							
			R4	A							
			R3	A							

具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)			備 考
	これまでの取組(進捗、成果等)	評価	今後の取組(予定・課題等)	
・健康長寿への自己管理意識の普及啓発	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、老人クラブなどの通いの場で健康チェックを実施している。	R8	関係各課、関連部署との連携を引き続き行い、より多くの通いの場で開催することを目標に事業を進めていく。	※評価欄について A : 計画的に事業実施・実施済 B : 一部事業実施 C : 事業検討・準備段階 D : 未着手・事業休止・事業見直し必要
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		
・「市健康マイレージ」・「県健康アプリ:SAGATOCO(サガトコ)」等の利用促進	全戸回覧や市報への掲載など、様々な広報媒体を活用し、周知・普及に努めた。「県健康アプリ」に関しては、健康マイレージのチャレンジ項目の一つに「SAGATOCOアプリの活用」として、利用を促している。	R8	今後も市民一人ひとりが健康に関心を持つきっかけづくりとなるよう周知・普及を行っていく。	
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		
・国・県・医療機関等と連携した感染症等対策の推進	新型コロナウイルスをはじめとした感染症の感染拡大を防止するため、国・県から最新の情報を入手し、医療機関への情報提供、市民への広報など必要時対策を行った。	R8	今後も、感染予防対策や予防接種の啓発と情報発信を個人及び集団に行っていく。	
		R7		
		R6 A		
		R5 A		
		R4 A		
		R3 A		
		R2 A		

(4)誰もが元気で住み続けられるまちづくりの推進										
重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績						
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法			
「高齢者居場所づくり」による設置数	25箇所	H30	10箇所	20箇所			福祉課資料			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				14	15	21	20	20		
認知症サポーター数	2,550人(延人数)	H30	1,592人(延人数)	2,719人(延人数)			福祉課資料			
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
				2,195	2,101	2,218	2,374	2,719		
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考		
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)						
・介護予防教室(運動教室・健康教室)による介護予防および高齢者運動の促進	集合型の介護予防教室に加えて、各地区へ出前講座として教室を開催することで、より多くの方に参加して頂くことができた。	R8		今後も集合型の教室と平行で、老人クラブや通いの場にて介護予防教室の開催ができるよう計画していく。				※評価欄について A:計画的に事業実施・実施済 B:一部事業実施 C:事業検討・準備段階 D:未着手・事業休止・事業見直し必要		
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
		R2	A							
・各地域における高齢者居場所づくりの推進・支援	百歳体操をきっかけとし、近所の通いの場にて体操ができるよう支援を行い、毎年新たに取組まれる地区も増えている。	R8		地域で集まって体操を行うことで、介護予防に加え、安否確認や認知症予防にもつながるよう他事業も併用した働きかけを行う。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
		R2	A							
・様々な層を対象とした認知症サポーター養成講座の実施	令和6年度より市内の小学4年生全員にキッズサポーター養成講座を受けて頂いている。	R8		今後もキッズサポーター養成講座を継続するとともに、様々な団体に養成講座を受けて頂くよう働きかけを行う。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	B							
		R2	A							
・生涯にわたる学ぶ気持ちの育成および生きがいづくりの推進・支援	地域での学びの場を支援する「出前講座」や、各種公民館教室、高齢者を対象とした「かがやき大学」など、学びや生きがいづくり、交流の場づくりの支援を行った。	R8		今後、継続的な講座を行うためにも、各種講座の充実や、集客が課題である。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
		R2	A							
・地域コミュニティ事業等による多世代交流の推進(昔遊び・しめ縄づくり等)	地域コミュニティ事業として、しめ縄づくり等を実施し、世代間交流の促進を図った。また、コミュニティスクール事業で高齢者が小学校を訪れ、昔遊び等を伝授しふれあいを図った。	R8		今後も同様の活動を継続し、世代を超えた交流機会を作っていく。						
		R7								
		R6	A							
		R5	A							
		R4	A							
		R3	A							
		R2	A							

(5)地域における身近な移動手段の確保

重要業績評価指標	目標	基準値		令和6年度末実績							
	R8年度(R2～8)KPI	年度	値	値			把握方法				
市内公共交通路線数	11路線	H30	11路線	11路線			嬉野市地域公共交通計画				
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				11	11	11	11	11			
具体的な施策	令和6年度の進捗状況(令和7年3月末時点)							備 考			
	これまでの取組(進捗、成果等)		評価	今後の取組(予定・課題等)							
・ 既存交通路線の維持・確保	交通事業者と連携を図りながら地域の実態に即した交通モードの検討を実施。	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	 A A A A A	幹線系統を除く路線について、移動ニーズに合った交通体系を構築していく。				※評価欄について A: 計画的に事業実施・実施済 B: 一部事業実施 C: 事業検討・準備段階 D: 未着手・事業休止・事業見直し必要			
・ 福祉バスを含めた市内交通システムの開発・検討	塩田地区全域におけるデマンド実証実験を実施。	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	 B B B A A	実証実験の結果、R7.5より塩田地区デマンドについては本格運行へ移行することとなった。他地域においても、移動ニーズに合った交通体系の構築を図っていく。							
・ 「地域公共交通計画」に基づいた公共交通ネットワークの見直し	交通計画に基づき地域に応じた交通体系の検討・協議を実施。塩田地区においては全域を対象としたデマンド交通の実証を実施。	R8 R7 R6 R5 R4 R3 R2	 B B B A A	引き続き交通事業者及び地域等との協議を行い、移動ニーズに合った交通体系を構築していく。							